

2020年度 第4回全国キャラバン研修会 報告

Part
1

気持ちよさをもたらすケアの技！ 熱布バックケア＋腹臥位＝「ワンセットケア」 どうやってやるの？

講師 気持ちよさをもたらすケア班 【共催】 ポジショニング班

- ◆ なぜ「熱布バックケア」「ワンセットケア」なのか説明
- ◆ 熱布バックケアの動画・冊子を用いた具体的な方法の提示
- ◆ 病院内で熱布バックケア研修会開催後の実践事例の紹介
- ◆ 腹臥位に関するアドバイス

「熱布バックケア」のおもな効果

- 患者さんが気持ちよさを体感できる
- 症状が緩和され、自然治癒力を高めることができる
- 患者さんの身体のコミュニケーションチャンネルが開いて、看護師と患者さんの相互交流が深まる



◆ 日 時 ◆
2020年11月22日(日)
13:30～15:30

◆ 参加者 ◆
40名・・・会員15名
非会員他13名
班員他12名

記念撮影



気持ちよさをもたらす看護ケアの中でも、できるだけ入浴に近づけた心地よさを体感でき、自然の回復過程を整える「熱布バックケア」と腹臥位を組み合わせた「ワンセットケア」を冊子や動画を用いて具体的な方法を提示し、事例を紹介しました。基礎看護学教育に携わる参加者が多く、「何が気持ちいいのかわからない」看護学生の話、腹臥位にするのが難しそうな患者へケアを実施する際の工夫などについて熱く意見がかわされました。

2020年度 第4回全国キャラバン研修会 報告

Part 2

気持ちよさをもたらすケアの技 II ワンセットケアを実施して実践を語り合おう!

講師 気持ちよさをもたらすケア班 【共催】 ポジショニング班

- ◆ 熱布バックケアを実施したかどうかアンケート依頼
～ポジショニング班の掲載紹介
- ◆ アウトブレイクルーム導入前の説明
- ◆ 小グループでの事例共有
- ◆ 各グループで出てきた話題の情報共有
- ◆ 事例紹介の講演(三浦雅美さん)
- ◆ 臨床で実際に熱布バックケア実施している病院の看護部長の講演
(重見美代子さん)

★ 2020年度第4回全国キャラバン研修会★

Zoom オンライン研修会

ジェネラルナースの技術力を高めよう

気持ちよさをもたらすケアの技
ワンセットケアを実施して実践を語り合おう!

技術成果検討チーム 気持ちよさをもたらすケア班
河合桃代 内山孝子 茂野香おる 東郷美香子 中山久美子
＜ポジショニング班＞大宮裕子 窪田静
＜協力＞殿城友紀 酒井千恵

日本看護技術学会学術集会キャラバン研修会パートII 2021.1.23



気持ちよさをもたらすケア「熱布バックケア」

ワンセットケア

- できるだけ入浴に近づけた心地よさを体感できる
- 自然治癒力を高める
- 気持ちよさ、安楽性をもたらすケアの一つ
- 実施する体位はさまざま

呼吸が楽になる「腹臥位」

呼吸が楽になる「うつ伏せ」のすすめ ポジショニング班
<https://jfnas.jp/wp-content/uploads/2020/06/utsuabase.pdf>

記念撮影



◆日時◆
2021年2月23日(土)
13:30～15:00

◆参加者◆
28名・・・会員9名
非会員他5名
班員他14名

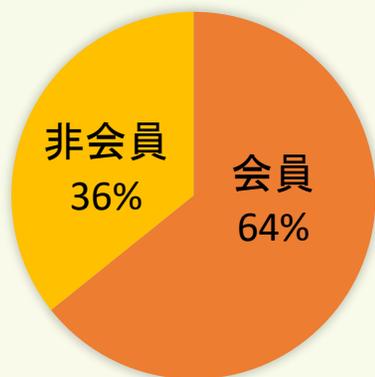


今回は参加者が熱布バックケアを実施した事例を持ち寄って少人数で語り合い、どのように熱布タオルをつくったのか、ケア中に温かいタオルを保持するための工夫、腹臥位で首の保持を楽にするコツなどの話が出ました。また、訪問看護で緩和ケアに携わる中で患者とそのご家族にも熱布バックケアを実施した事例や、いまは当たり前前のケアの一つとして浸透している病院で、食欲が増して活動性が増えて笑顔になるなど患者さんに様々な変化が見られた多数の事例を紹介していただき、参加者ともに感動し、胸がいっぱいになりました。

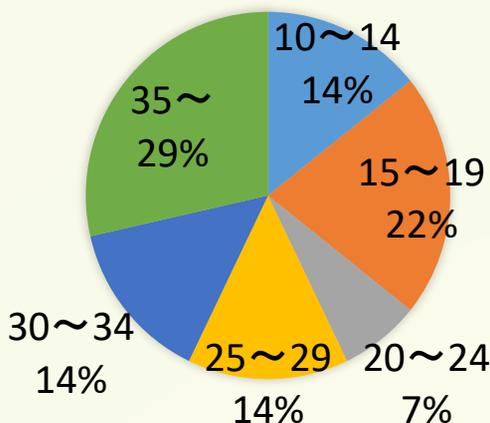
2020年度 第4回全国キャラバン研修会 報告

Part II アンケート結果 回収13名、回収率93%

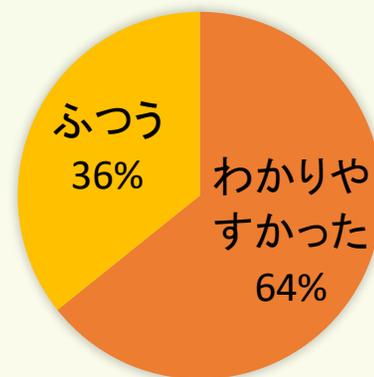
参加者の内訳



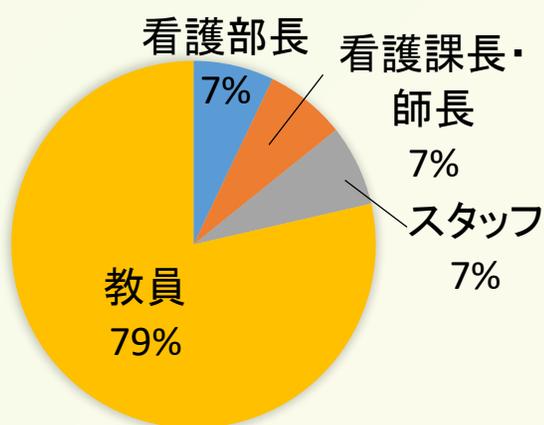
参加者の経験年数



研修の内容



参加者の役職



<自由記述より>

- ご開催をありがとうございました。最後の重美さんのご発表に感動しました。嬉しくなりました。実際に臨床で実施している方のお話が聞ける機会なので、大変勉強になりました。学部教育に活かしていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

- 本日発表された事例の中で食事摂取量が0から10にとありました。認知症で食事が少ないのは脳の変化によるものが要因としてあるのではないかと考えていました。しかし、熱布バックケアや足浴の効果で食事摂取量が増えるということに感激致しました。ぜひエビデンスを出して確立したいと思いました。
- ZOOMでの研修は初めてだったので貴重な体験でしたが、参加しやすい形だと思っております。また技術だけでなく看護の本質を考えさせられるテーマなので、現場の看護師にもっと参加してもらいたいと思いました。
- 対象者の気持ちや思いに沿った看護技術技術優位にならない看護が感じられる研修だと感じました。
- 先生方お一人お一人の熱布バックケアに関するご説明や適応事例の解説が、とても丁寧で、学生と一緒に実施していきたいと感じました。ありがとうございました。

2020年度 第4回全国キャラバン研修会 報告

Part
3

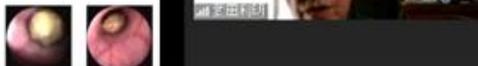
エビデンスに基づく排泄援助の技 温罨法・浣腸・摘便について学ぼう！

講師 浣腸班、温罨法班

- ◆ グリセリン浣腸の有害事象のメカニズムと動向
- ◆ グリセリン浣腸Q&A紹介と浣腸と摘便の安全な実施のポイント
- ◆ 温罨法の安全性と効果、温罨法技術のポイント

GEによる溶血・血尿（実証研究）
～結論～

- ① 50%グリセリン浣腸液により溶血・血尿が発生（意外な有害事象）
- ② 浣腸液は直腸粘膜の損傷部から血中に移行（硬便で粘膜は脆弱化）
- ③ ラット0.025ml/kg(ヒト1.25ml/50kg)で明らかな溶血（推測量）



◆日時◆

2021年2月13日(土) 13:00～15:00 ◆参加者◆

25名・・・会員13名、非会員他12名、班員他10名

便秘症状の緩和のための
温罨法Q&A
Ver. 4.0



グリセリン浣腸による
医療事故の発生状況

大久保 暢子

WARM COMPRESSION
ビニール袋に入れた
熱布による温罨法
(丸山式)



グリセリン浣腸Q&A紹介
浣腸と摘便の
アセスメントについて

栗田 愛

partⅢでは、排泄援助の技をテーマに研修会を開きました。

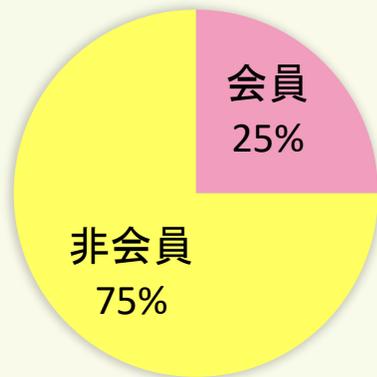
グリセリン浣腸と摘便については、グリセリン浣腸が原因である医療事故の動向、その機序、安全にグリセリン浣腸や摘便を実施するための実施方法について取り上げました。温罨法については、温罨法の効果や安全性、温罨法のデモンストレーション動画を用いて実施のポイントをご説明しました。

講義の後は、意見交換を行い、困っていることや疑問点について参加者と解決策について話し合いました。今回は、臨床や在宅の看護職だけでなく、教育機関に所属する方のご参加も多かったです。

2020年度 第4回全国キャラバン研修会 報告

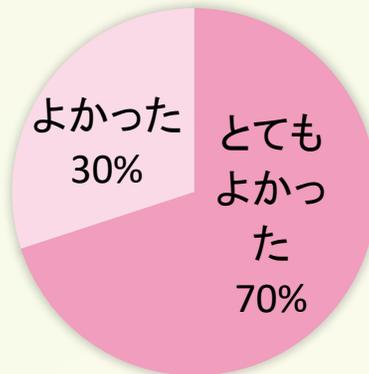
Part III アンケート結果 回収20名、回収率80%

参加者の内訳

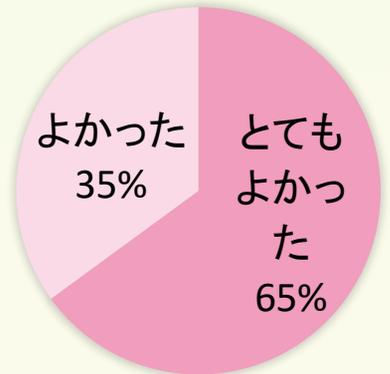


研修の内容について

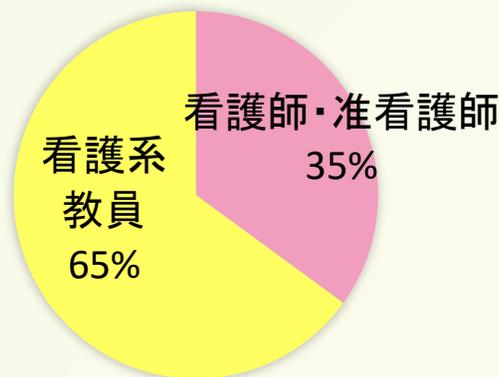
① 浣腸・摘便



② 温罨法



参加者の役職



記念撮影



研修会参考資料 Q&A

学会HPよりダウンロードできます

<https://jsnas.jp/guideline/index.html>



自由記述より

- ・ 日頃の疑問も解け大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ グリセリン浣腸と溶血の関係などは、当院の医師も知らないかもしれない、と思いました。
- ・ グリセリン浣腸と摘便を多用する現場なので、今回の内容をもっと周知させていきたいと思いました。
- ・ 温罨法の動画についても参考になりました。

※写真はご本人の許諾を得て掲載しています。